



野鳥 カワガラス

全長 22cm。翼開長 31cm。体の大きさに較べて翼がかなり短い。体はずんぐりしていて、全身黒褐色、尾は短いです。流れの速い溪流に生息し、滝の裏側など岩の隙間や橋下の隙間、堰の水抜きなどにミズゴケを使用して巣をつくります。

ニュース **2021.11.1**
Vol. **243**
とうめい news

〒243-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者:河野 昌史
編集責任者:和田 博貴
印刷:(有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

**今年の東京ヤクルトスワローズから
考えるチーム医療の重要性**

消化器外科：
神山 公希

TOPICS

消化器外科の神山公希（かみやまこうき）と申します。元々は餃子の街、栃木県宇都宮市出身で、富山医科薬科大学医学部（現・富山大学医学部）を卒業し、富山、新潟、山形、埼玉などの病院勤務を経て2014年4月よりとうめい厚木クリニック・東名厚木病院に赴任して早8年目を迎えました。

変なタイトルからお察しの通り、私は38年来の東京ヤクルトスワローズファンです。神奈川県においては横浜DeNAベイスターズファンが多い中で若干肩身の狭い思いをしておりますが、本拠地である明治神宮野球場（東京都新宿区）まで1時間強で行けるので、こちらに赴任してからはますます応援（おうえん：ファンの間では応援ではなく応援と言っております）に力が入っております。

野球と言えばこのところはメジャーリーグの大谷翔平選手の話が持ちきりで、野球ファンではない方でも名前を聞いたことがあると思われる。大谷選手は投手として試合に勝ち、打者としてホームランを量産するメジャーリーグでも稀に見るスーパースターです。こんな選手がチームにいたらそのチームはさぞかし強いだろうと思われるかもしれませんが、彼の所属するロサンゼルス・エンゼルスは、残念ながら優勝争いには加われない状態です。

さて、一方の私が応援する東京ヤクルトスワローズは、ファンもびっくりの優勝争いを演じております。元々強いチームじゃないのかと勘違いされそうですが、これまでは2年連続最下位で今シーズンの順位予想も最下位予想をする解説者がほとんどのチームでした。そんなチームがまさかの優勝争いを演じているわけですが、それが何故なのかを考えてみる

と私たちが提供する医療にも通じる部分が見えてきました。

どのチームも個々の選手の能力は高いレベルです。ただし、すべての能力に長けている訳ではありませんので、各選手は個人の特性を生かし、与えられた役割を理解して、最大限のパフォーマンスをおこないます。これらの選手を統括・指揮する監督・コーチと多くの人々が作戦を練って、それを遂行し、勝利を目指します。その他にも、良い攻撃・守備を行うためにデータ収集、解析をするスコアラーやアナリスト、選手のコンディションを管理するアスレチックトレーナー、用具係やランドリー係、さらに球団を運営する人々がいます。このように、チームが勝つためにはたくさんの役割の人々が係わり、各々が最大限のパフォーマンスを発揮することでチームの勝利につながっているのです。このことはどこのチームも一緒のはずですが、なんと言っても今年の東京ヤクルトスワローズはこれまでの2年に比べてチームの雰囲気非常に良く、そのために他のチームより良いパフォーマンスができています。だと思います。（完全にファン目線ですが）

多職種が連携して各々が最大限のパフォーマンスを発揮して全体としての結果が出ることは、医療の現場でも全く一緒だと思います。今年の東京ヤクルトスワローズのように、皆様に係わる全スタッフが丸となって、良い雰囲気の中で連携を取り、それぞれが最大限のパフォーマンスを発揮していくことで皆様の治療や健康維持に貢献していきたいと思う今日この頃です。

